



日本サーバス本部会報 2017年8月4日発行

日本サーバス会長 緒方智子

さまざまな異常気象現象とそれに起因する甚大な被害を各地にまき散らしながら 6月、7月が去り、暑い8月を迎えています。日本の「八月」は人々に戦争と平和、そして歴史についてさまざまな問題を提起してくれる熱い季節でもあります。

サーバスは起源の根底に平和を有している国際組織であることはご存じの通りですが (Servas is an Esperanto word, meaning 'serving'. Servas was founded in 1949 by Bob Luitweiler as a peace movement working to build understanding, tolerance and world peace. Servas has a presence in over 130 countries around the world.) 日本のこの快適とは言えない8月に、あえて日本を訪問されるトラベラーに歓迎の意を表すと同時に、世界の平和について共に考え合うことができればいいなと思います。

今回の本部会報 8月号では、去る7月に国連で採択された核兵器禁止条約に関する会員の思いと、サーバススピリットで原発事故被災者支援の一環として取り組んでおられる近畿支部の保養活動のこと等を中心に国際サーバスや日本サーバスの活動、さらに会員から要望のあったサーバス活動の交流を支える英語メールのサンプル応答例等を掲載します。ご一読くださいませ。内容は以下のものを収録しています。

- | | |
|---|--|
| 1 | 核兵器による唯一の犠牲国の一会員として世界のサーバスヘアピール —YT 会員 (関東支部) |
| 2 | サーバス近畿支部における保養の取り組みについて —WI 会員 (近畿支部) |
| 3 | 国際サーバス会報 (日本語で要約) —TK 国際部チームリーダー |
| 4 | 「国際サーバス週間」の設定 —国際サーバスからの提起 |
| 5 | SYLE 活動報告 : —KN SYLE プロジェクトリーダー |
| 6 | SOLについて続報 (進捗状況のお知らせ) : —NS SOL日本サーバス管理者 |
| 7 | Servas 交流を支える英文Mail 例 —NM 国際部チーム |
| 8 | 日本サーバスの動き : |
| 9 | 編集後記に替えて |

1 核兵器による唯一の犠牲国の一会員として世界のサーバスへ

アピール

YT 会員(関東支部)

広島・長崎に原子爆弾が投下されて72年、マーシャル群島のビキ環礁で米国の水爆実験により日本のマグロ船が被爆してから63年が経過しました

声さえ出せずに瞬時に溶けて逝った十数万の人たち、生き伸びてもケロイドや白血病や癌などの原爆後遺症に苦しめられて、何十年も苦しみ続けてきた数十万人の被爆者たちがいました。そしていまなお約20万人の被爆者がおり、その苦しみは毎日継続しています。

2017年7月7日 国連史上はじめて、核兵器を違法化する禁止条約が決議されました。特に条約の前文の冒頭に、「核兵器の使用によって引き起こされる破局的な人道上の結末を深く懸念し、そのような兵器全廃の重大な必要性を認識、全廃こそがいかなる状況においても核兵器が二度と使われないことを保証する唯一の方法である」と掲げられました。

これは、国連が、世界を核兵器禁止からさらに廃絶へと向かわせる、歴史的意義のある決議です。

条約の第1条では、核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵の禁止。そして、「使用の威嚇」の禁止も明記されました。これは核兵器擁護の支柱である核抑止力を厳に禁じたものです。

条約第4条では、核保有国が条約に参加する二つの道を示し、広く門戸を開きました。核保有国が条約に参加しなければ、核のない世界は実現しません。そこで決議は、①核兵器を廃棄したうえで参加する道 ②条約に参加したうえで核兵器を速やかに廃棄する、二つの道を明示しました。

この決議は、122か国の政府代表によって決議されましたが、これが国連の国際条約として発効し拘束力を持つのは50か国が条約を批准し、90日後からです。

世界各国のサーバスの皆さんに、地上の唯一の被爆国の日本サーバスの一員として、次のことを呼びかけます。

- ① 各国のサーバス支部が、それぞれの政府に、核兵器禁止条約の速やかな批准を求める国民の活動に連帯し、核兵器完全禁止のために行動しましょう。
- ② すでに決議に賛成した122国にあるサーバス支部は、この条約の批准をそれぞれの国において促進するよう国民・政府と連帯して活動しましょう。
- ③ 決議採択に賛成票を投じなかった国のサーバス支部は、政府がこの条約を批准するよう求める諸団体と協力し、批准のための連帯活動を展開しましょう。

(2017年8月吉日 元日本サーバス ピースセクレタリー YT)

2 サーバス近畿支部における保養の取り組みについて

WI 会員(近畿支部)

チェルノブイリ原発事故のあと英国ウェイルズの当時国際サーバス会長を務めていたスレーダー氏宅にホームステイ。彼はホームドクター。滞在中にランチパーティーがあり、それがチェルノブイリの子供たちと彼らのホストファミリーの集まりであった。

氏によれば非汚染地域に2週間でも滞在すれば甲状腺がんの発症を低下させることができる。毎年20人ずつの子供たちを招き、村の家庭（ほとんどが老人家庭）で一人ずつ預かっている。子供たちの健康のためには良いことだが言葉の通じない老人家庭での2週間はお互いに辛いので日中にこうしてみんなで集まるのだと言う。子供たちはバレーや歌を披露して子供たち同士の交流も深めていた。反対もあったけれど医師として何もせずにはいられないと沈鬱に語られた。サーバスの内奥に触れた。

まさか日本で原発事故が起こるとは夢にも思わなかった。そんなきっかけで事故翌年の夏休みにとりあえずスタート。時間的に余裕がなくその年は個人で始めた。支部長に相談して翌年から支部の取り組みとなる。受け入れ可能メンバーの数より保養希望者が少ない。福島では大人数での団体受け入れなら応募者は多いが家族単位は応じにくい事情があるという。幸い友人の努力で千葉県からの家族が応募、今夏で6年目となる。近くのサーバスメンバーと友人たちの協力を得て、楽しく続けている。交通費の補助として一人1万円の予算であったが、遠慮されて3人で1万円となっている。最初は2週間だったがこちらへの遠慮か去年は10日間だった。今年は1週間ということだが支部長宅への1泊2日など楽しいプランが予定されている。毎年8月6日は朝から三井寺で行われる平和祈念法要に参加、平和を祈る短冊のついた風船を飛ばすのが恒例になっている。去年は我が家に滞在中の子供さんがカラー写真で新聞に載った。続いて国宝の金堂で開かれている平和を願う絵画展へ。そこで手作り紙芝居で平和活動をなさる方と知り合う。子供たちは次々とリクエスト、図らずも平和学習となった。その紙芝居作家さんからの依頼で去年はモンゴルから今年はタイから子供さんたちの絵画出展が続きサーバス活動は広がる。来年はイタリアからと今から準備が始まっている。

保養家族の母親は毎年帰途に大きな旅行鞆に入るだけの野菜を購入。現地から遠く、年数を経て恐怖が薄れている我が身に出会う。

3 国際サーバス会報6月号紹介

TK 国際部リーダー

原本はサーバスのメーリングリストで転送（2017/07/01）しましたので、各支部長より、会員のみなさんには原本が送信されていることだと思います。日本サーバスのWebページにも掲載されています。

ここではTK 国際部メンバーからの日本語による概略を掲載し、()で補足説明をしていきます。

1) 次回 SI 総会を来年、2018 年 10 月 13～20 日に韓国のソウルで開催することが正式に決定しました。(詳細は追いつ追いつ発表されるでしょうが、参加を希望する向きは取りあえず日にちをおさえておいてください。会議は国連方式で運営されますが、各国 1 名の議決権保持者以外のオブザーバー参加者は連続して開かれる「会議」への参加は自由です。オブザーバーを対象としたレクリエーション的プログラムや特別講演等もそれぞれのボランティアグループから企画され好きなものに参加できます。リーズナブル施設での滞在、世界各地からの参加者との自由交流等ができますので、よい体験になると思います。この時期はソウル大会参加を兼ねて日本訪問者もあるかも知れないと推測しています。)

2) 国際サーバス (SI) ホームページは今年 2 月に全面的に更改されました。(SI ばかりでなく、各国サーバスの行事予定を見るために、カレンダーのページも閲覧して下さい。)

3) Servas On Line (SOL) の現状報告

(現在までに 25 ヶ国のサーバスが、会員データの SOL への移行を完了しました。人数にすると全世界の会員の 45%になります。最先端を往くフランス、スウェーデン、デンマークでは、SOL データから PDF 版ホストリストの作成に成功しました。さらに「e-LOI」(LOI を SOL の中で作成し、スタンプも紙版ではなく、電子版に移行)も検討中とのことです。

4) SI ピースセクレタリーの Danielle Serres を中心に、ジュネーブの国連欧州本部で Tourism と持続可能な社会の発展に関するシンポジウムを開催しました。(サーバス会員はツーリストではなくサーバストラベラーであり、私たちのモットーは、Travel peacefully and walk lightly on the earth だそうです。)

5) SI の記録文書が、権威あるスタンフォード大学内のフーバー研究所に保存 (110 箱分)されることが決まりました。(SI Archivist (記録管理者)の Anna Kolster は、保管すべき文書の選別に取り組んでいます。)

6) SI が作製する来年のピースカレンダー用の写真を募集 (サーバス旅行時あるいはトラベラー受入れ時の傑作写真があれば、投稿してみてもいいでしょうか?)

7) 国際サーバスの Web ページ管理者やフェイスブック管理者などを募集しています。(SI でも IT 人材不足のようで、意欲をお持ちの方は応募をどうぞ)

8) 各国のサーバスの状況

- ① キューバ(会員数3)、ニカラグア(7)、マリ(10)、ルワンダ(50)の国々でサーバス組織が誕生あるいは復活しました。ルワンダでは来る8月28-31日に、「アフリカにおけるサーバスの持続」をテーマに国際会議を開くそうです。
- ② インドサーバス、スウェーデンサーバスなど新役員が写真付きで、紹介されています。
- ③ その他、たくさんの国の活動報告が写真付きで掲載されています。(原本をサーと見るだけでも結構面白いです。)

4 「国際サーバス週間」の設定 —国際サーバスからの提起

国際サーバスより、「2017年サーバス週間」についてのチラシと案内がきています。この取り組みは一昨年、ニュージーランドで行われた国際会議で、サーバス活動の普及と会員間の絆を深める活動をすすめるようということで、その目的を推進するグループが、innovation チームとして選出され、そのチームからの提起です。この「サーバス週間」は昨年に引き続き、今年度も取り組まれます(以下の情報は日本サーバス役員メールでも送信(2017/7/13, 17)しています。

今年の期日は2017年9月16日～24日

(国連が定めた国際平和デー<9月21日>に合わせた期日です)

テーマは Connecting Servas : making connections and celebrating 70 servas anniversary (来年が国際サーバス70周年です。)

この期間にこだわる必要はありませんが、国際サーバスへの連帯の取り組みとして、各支部テーマに合うそれぞれの支部に応じた取り組みを考えていただけたらと思います。

・支部会報の発行 「支部、または寄りやすいところでのサーバスミーティング」「その他」・・・(2017/7/13送信の国際サーバスニュースに詳しい情報が掲載されています)

昨年、この取り組みが提起されていたらしいのですがわかりませんでした。すみません。以下は今年の宣伝チラシです。

Project: International Servas Week

Connecting SERVAs: making connections with the world
2017 NEW EDITION: Preparing the celebration of the 70th anniversary of Servas in 2018!

WHAT?: Celebrate Servas once a year, the week of 21st September.

HOW?: Take part in global action to show ourselves to the world and so reinforce our values as an organisation.

IMPACT?: As Servas members make new connections among ourselves and with others who share common ground with Servas.

The Innovation Group, innovation@servas.org
02/06/2017



5 日本サーバスはじめての SYLE 研修生受け入れ報告

KN SYLE プロジェクトリーダー

2016年10月にアメリカ Servas から SYLE 研修生の受け入れ依頼が舞い込みました。SYLE については 2016年3月の国内会議でも実施は決めていませんでした。ただ国内会議の後で、東海北陸支部で SYLE を担当し、勉強してほしいと会長からお話しがありました。何しろ未経験な事で、躊躇する気持ちもありました。

丁度その頃九州支部の例会があり、そこでこの問題を取り上げて頂きました。やってみなければ何事も始まらないとの皆さんの前向きな姿勢のお陰で取り組みが決まりました。若者の語学研修 SYLE は原則1カ月。やって来るのは TH さん、28才、オレゴン州ポートランドの出身。4月25日、来日。研修終了5月24日。以前京都に1年間滞在した経験があります。今回は今まで学んだ日本語をしっかりとレベルアップしたいとの目標を持っています。アメリカ側からは「普通のトラベラーと同じに考えて貰ってイイ。日本語をできるだけ使うようにちょっと心掛けてもらえれば、、、。」との事でしたが、九州支部の皆さんはもっと Tess さんの為を考えて、秘策を練ってくれました。

ホームステイを引き受けて下さったのは HS さん、KN さん、YK さん、OT さん、TY さん、NM さんの6名です。それぞれが4日から6日引き受けました。

1) 日本語に関しては持参の独習用教材で学ぶほかに

①日本語で毎日日記を書く

②ホストはその日記を添削。SYLE 記録にもする。この2点を柱に据えました。

2) 日常生活では ◎生活言語は日本語。いろいろな場面で使うのを心掛ける。

などの他にいくつかの申し合わせ事項を決め対応しました。

1)、2) の取り決めは今後の SYLE 受け入れの指標となるもので、道筋をつけて頂きました。

Tess さんは「楽しいことはあつと言う間に過ぎてしまう。もう研修が終わりな

んで信じられない」と言って名残を惜しみました。その後、他のホストのお宅にもお世話になり、充実した日々を過ごしました。

SYLE には Servas Youth Language Exchange(10-18years old) SYLE-Junior
Servas Youth Language Experience(18-30years old)SYLE
Servas Language Volunteer Experience(30-80+years old)SYLE-volunteer
があります。

6 SOL (Servas On Line) について続報 (進捗状況)

NS 日本サーバス SOL 管理責任者

これまで、SOL について日本サーバス会報 (5 月号) では「サーバスオンライン (SOL) の取り組みについて 会長」の記事、また日本サーバス Web ページ

(<https://www.servas-japan.org/contents/SOL/SOL.html>) の「SOL についてのお知らせ 会長 (2017/0618)」及び「電子版ホストリストから SOL への移行 (2017/0618)」の記事で説明されています。

その後、支部長さんへ電子版ホストリスト (EHL)の 7 月末の更新に向けてホストリストの変更点などのお伺い、また EHL の情報を SOL に一括転送し、会員登録を行うために電子メールの確認、家族会員の登録を個別にするのか、1 人が代表するのかなどの問い合わせなどをお願いし、その報告を頂きました。

皆様のご協力のお陰で EHL の 7 月末の更新は無事終了し、国際サーバスの Dolphin システムに保存されました。

この最新版の EHL (3 列 6~9 行 ; エクセルファイル) の情報を基に、各会員について 3 列 6 行の統一したエクセルファイル作りの作業を 8 月初めに各支部にお願いしました。

このエクセルファイル作りが 8 月 18 日ごろまでに終わり、その後 SOL 本部指定のエクセルファイル (各会員情報を 1 行 95 列) に当方で変換する計画です。これを完成させ SOL 本部へ送り、日本サーバスの会員 225 名 (8 月 1 日) を SOL へ登録してもらいます (8 月末の予定)。

上記の EHL の情報を基にした SOL への転送情報は、SOL に設定された事項 (情報) のすべてではありません。それで、会員の皆様は 9 月以降に SOL にログインして必要事項に記入することや変更点があれば修正することが必要です。

SOL へのログインについては、Username は各人のメールアドレスを使っていたらき、パスワードを作成する手続きをおこないます。その後は再度ログインしてメールアドレスの代わりに好きな Username を作ることができます。

SOL へのログイン、自分の情報の変更、追加、LOI 発行などは、日本語版「SOL 利用の手引き」を利用して下さい。手引き日本語版は国際部チームの協力ではほぼ出来上がっていますが、分かりやすいものにするための作業が続いています。8 月末までには完成の予定です。

7 Servas 交流を支える英文 Mail 例

NM 西山正廣国際部チームメンバー

ある会員の方からステイ依頼のメールが来たとき、とっさに英語で返事が書けず「後で」と思っているうちに日にちが経ってしまう、何かいいサンプルを示してもらえたら・・・という願いがありましたので、国際部の西山さんに典型的な例文を書いていただきました。

① 海外トラベラーからホスト依頼のメールまたは手紙が届いた時 <受諾の場合>

Hello, Mr. / Ms . . . !

I received your e-mail (letter) today. It will be so nice to have you stay with us,
but may I ask you some questions?

と書いて、以下のようなことを尋ねておくのもいいかもしれません。

- 1) When do you want to visit us? * date and time
- 2) How do you come to our hometown? * JR or bus or some other way?
- 3) Do you want me to meet you at some places like the JR station?
- 4) Do you have likes and dislikes in food?
- 5) What do you want to experience in our district? * visiting
- 6) Where do you plan to go after staying at my house?

その他、こういう表現もいいかもしれません。

• Thank you very much for your e-mail (letter). You are welcome at my house any day. Our door is always open!

• You are welcome at my house on that day. If possible, please come in the morning.

• OK, please visit us on that day. What time do you want to come?

<お断りする場合>

Hello, Mr. / Ms . . . ,

• Thank you very much for your e-mail (letter). I am very sorry but we cannot welcome you at our house at that time, since we will be away for a

previous

appointment. I would like you to contact some other hosts in my district.

こういう場合もあるかもしれません。

・ Thank you very much for your e-mail (letter). We are very sorry but cannot have you stay with that at that time. My old friend is expected to visit us at that time. Please ask some other member in our area.

・ Thank you very much for your e-mail (letter). I am very sorry but recently my physical condition has not been very good. Please ask for some other hosts.

いずれにせよ、トラベラーはあなたの返事を首を長〜くして待っていると思われま
す。早く返事を出してあげてください。

② 海外のホストに受け入れ依頼のメールまたは手紙を出す場合のサン プル

Hello, Mr. / Ms ,

My name is I want to visit your district in the end of next month. If you do not mind, I would like to stay at your house for two days and visit some places of interest like the museum and shopping mall. Regarding myself, please refer to the LOI attached with this mail. I am looking forward to your answer as soon as possible. Thank you very much.

こういう言い方もあるかも知れません。

・ My name is I want to visit the well-known places in your district like A, B, and C. May I stay at your house for a couple of days? I am sorry but have not attached my LOI with this, but let me send it as soon as possible. Thank you very much in advance.

8 日本サーバスの動き

1. 組織問題検討チームが結成され、動き始めました。チームリーダーは吉崎収二副会長です。3月の国内会議で出された日本サーバスが抱える様々な意見を吸い上げ、検討し、その結果を来年の国内会議で提起していただく予定です。
2. 来年(2018年)の国内会議は関東支部担当です。3月17日～18日の線で動いてい

ただいています。日時と場所は決定次第連絡いたします。

3. EHL から SOL への移行をめざして、SOL チームの活動が大詰めに差しかかっています。担当者のご苦勞に頭がさがります。
4. SOL の手引き書（日本語バージョン）も国際部の和訳作業、IT 担当者等の英→日置き換え作業もだいたい終わっています。後は会員のみなさんにいかにわかりやすいものにしていくか、その作業が続けられています。
5. 中国・四国支部と九州支部の「折り鶴 GIFT」プロジェクトも担当者のご尽力で動きはじめたようです。SADAKO に捧げられた折り鶴が世界各地のサーバス会員の手元で、命が吹き込まれていくことを心から願っています。

9 編集後記に替えて

近所の中学生が修学旅行で広島を訪問しました。そのとき、外国からの訪問者にグループでインタビュー活動を行い、自分たちの平和への思いを伝えると同時に、インタビューに応じてくださった方々に一言メッセージを書いてもらったそうです。その資料をいただきました。タイトルは **What is peace for you?**
みなさまはどのようにお答えになられるでしょうか？

資料にあったメッセージを許可を得て一部をご紹介します、日本サーバス本部会報 8月号の編集後記に替えさせていただきたいと思います。もうすぐ立秋ですが、「異常」がつく暑さと天候は続きそうです。ご自愛の上、ご活躍くださいませ。

緒方智子

- Love all countries and people no matter their origin. (Canada)
- Peace is understanding of what brings us together, within a natural harmony. (US)
- tolerance & respect for other people's identities (Belgium)
- People respect each another. (Switzerland)
- Where all people all over the world are peacefully together without any differences between different countries, age & gender
- Peace is love and respect for all people of the world.
- The most important thing in the whole world! (Germany)
- Everyone living in harmony (UK Scotland)
- Love Amore Ai (Italy)
- Awareness + Connection + Love + Tolerance (US)
- Peace is a world without weapons. It is love, friendship and a mutual trust.
The world is looked after and nature is respected. (UK)
- Peace is respect and compassion for everybody (Holland)
- Love for all people on Earth. (US)
- Peace is walking together. (UK, Scotland) *英文はそのままです。